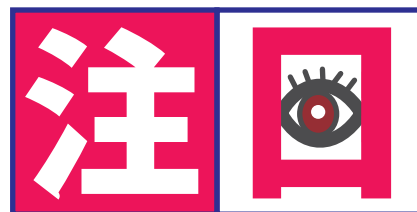




あなたに



かねがえ けんじ
鐘ヶ江 賢治 さん

町で初めての 地域おこし協力隊員

町で初めての地域おこし協力隊員となった鐘ヶ江賢治さん(33)が、12月13日に着任しました。

鐘ヶ江さんは福岡県久留米市の出身で、東京や宮城県仙台市での勤務後に独立し、仙台市で会社経営者へのスピーチの指導などを行う事業を営んでいます。

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致して定住・定着を図ることで、住民のニーズに応えながら、地域力の維

持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

鐘ヶ江さんに質問

厚岸の印象やこれからの活動内容などについて聞いてみました。

厚岸の印象は？

福岡県の出身なので、とにかく寒さにびっくりしています。外に干したタオルが凍ったのを初めて見ました。今まで都市に住んでいたのも、人口が1万人規模の町に住むイメージが湧かなかったのですが、買い物や情報館へ行くために歩いたことで町を探検できて、どのような町なのかを知ることができました。

他には、北海道は寒くても人は温かいと聞いていたとおり、自治会の新年会に参加した時には皆さんの温かさを感じました。

どうして厚岸に来ようと思ったのですか？

仙台市にいるとき、厚岸をよく知る知人が、厚岸の良いところをたくさん教えてくれました。ちょうど厚岸で地域おこし協力隊の募集をしていたので応募しました。

活動内容は？

厚岸蒸溜所のガイドを含めた体験型の観光メニューの構築と、移住促

進のための情報発信です。

どのような活動を展開していきたいですか？

町民皆さんと一緒にできる体験をしたいと思っています。子どもが生まれてから、『食』に関するにとっても興味が湧き、いろいろと勉強したので、親子や若者と一緒に料理教室をしてみたいです。

また、コンキリエは観光客がメインの施設なので、町民の皆さんが気軽に利用できる体験メニューを考えていきたいです。町の人に愛される施設になってほしいと思います。

皆さんへメッセージ

地域おこし協力隊員なので、町民の皆さんと話すことも活動の一つです。いろんな人からお話を聞かせてほしいです。話を聞けば、そこから活動が生まれていくと思っています。

鐘ヶ江さんはコンキリエを拠点に活動していきます。英語が得意なので、厚岸蒸溜所のガイドとしても期待されています。

皆さんとの交流をとても楽しみにしていますので、鐘ヶ江さんを見かけた際にはぜひ声をかけてください。